

ミスミコンベヤ取扱説明書

はじめに

この度は当製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、この取扱説明書は必ず保管してください。

- | | | |
|--------------|-------|------------|
| 1. 取り扱い上のご注意 | 3. 構成 | 5. 保守 |
| 2. 配線 | 4. 運転 | 6. 仕様・環境条件 |

1. 取り扱い上のご注意

- お使いになる前に、「取り扱い上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
 - 運搬の際にコンベヤを落としてケガをしないように十分に注意して作業してください。またクレーン等による吊り上げの時のバランスにも注意してください。
 - ベルトコンベヤは、しっかりと固定して安全にご使用ください。
 - 感電防止のため、必ず「アース線」を接続してご使用ください。また、装置の一次側に CE 適合した電流遮断装置を必ず取り付けてご使用ください。
(台湾製モータに関して: インダクションモータにはアース線が付属しておりません。スピードコントロールモータにはアース線の取り付けは可能ですが、アース線はご自身でご用意ください)
 - 使用前に、各種点検を行ってください。
 - 使用前には必ずベルトテンションを調整の上、ご使用ください。
 - コンベヤには警告シールが付属します。ご使用前に作業の方が必ず見える位置に貼付けてください。
 - 貼付位置は別紙の「警告シール貼付例」をご参照ください。

■使用上のご注意

- 次に示す用途では、弊社のコンベヤは使用しないでください。
 - a) 医療を目的とする機器
 - b) 人の移動・搬送を目的とする機器
- 以下の環境では使用しないでください。
 - a) 水のかかる場所(防水仕様になっておりません)
 - b) 爆発の危険のある雰囲気下(危険なガス、粉塵などのある場所)
- 運転中に、可動部に触れると危険です。必要に応じて安全カバーを取り付けて使用してください。
- 運転中は、モータが高温になるので触らないでください。やけどを負う可能性があります。
- 「カタログ」に記載のある仕様、搬送能力の範囲内でご使用ください。
- 使用する際には、服などの巻き込み・引っ掛かりに十分注意して使用してください。
- コンベヤ本体に過度な衝撃を与えると、破損する可能性があります。
- 濡れた手で電気部品に触れないでください。感電の原因となることがあります。
- 製品の性能・機能に影響を与える分解・改造は行わないでください。
- 機体の整備を行う際は、必ず通電していない状態で行ってください。
- ベルトの交換をする際は、搬送方向に気をつけて取り付けてください。(ベルトには取付向きがあります)
- コンベヤの上に搬送物を載せたまま起動しないでください。過負荷になりモータが焼損する可能性があります。
- ベルトに過度のテンションを与えないでください。ベルトの消耗を早める可能性があります。
- 搬送物の条件にあったベルトをご使用ください。
- 1年毎に、全てのネジの定期点検を行ってください。(稼働時の振動でネジが緩む可能性があります)
- ステンレスベルトコンベヤ【CVSSA】に関しては、ステンレス薄板のベルトのため、ベルト回転時は端面に触らないよう注意してください。手傷を負う可能性があります。
- モータ・ギヤヘッドなしコンベヤ、ベルトなしコンベヤ、セルフキットコンベヤは単品部品の性能は保証致しますが、お客様の元で組み付けた部品との機能は保証致しかねます。
- モータ・ギヤヘッドなしコンベヤ、ベルトなしコンベヤ、セルフキットコンベヤは CE 対象外となります。



感電注意(1枚)

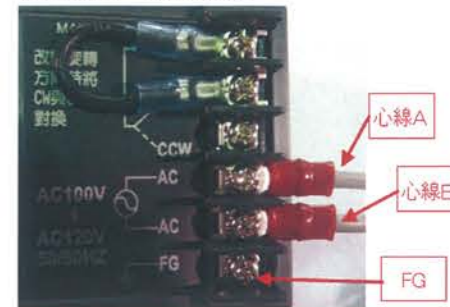


高温注意(1枚)



巻き込み注意(2枚)

【台湾製モータ配線例】

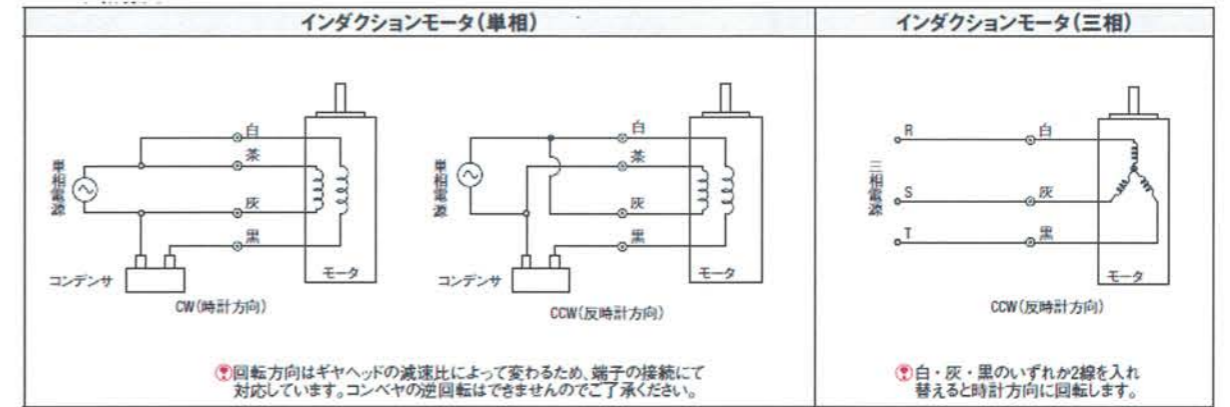


※心線A、心線Bが接触していないことを確認してください。

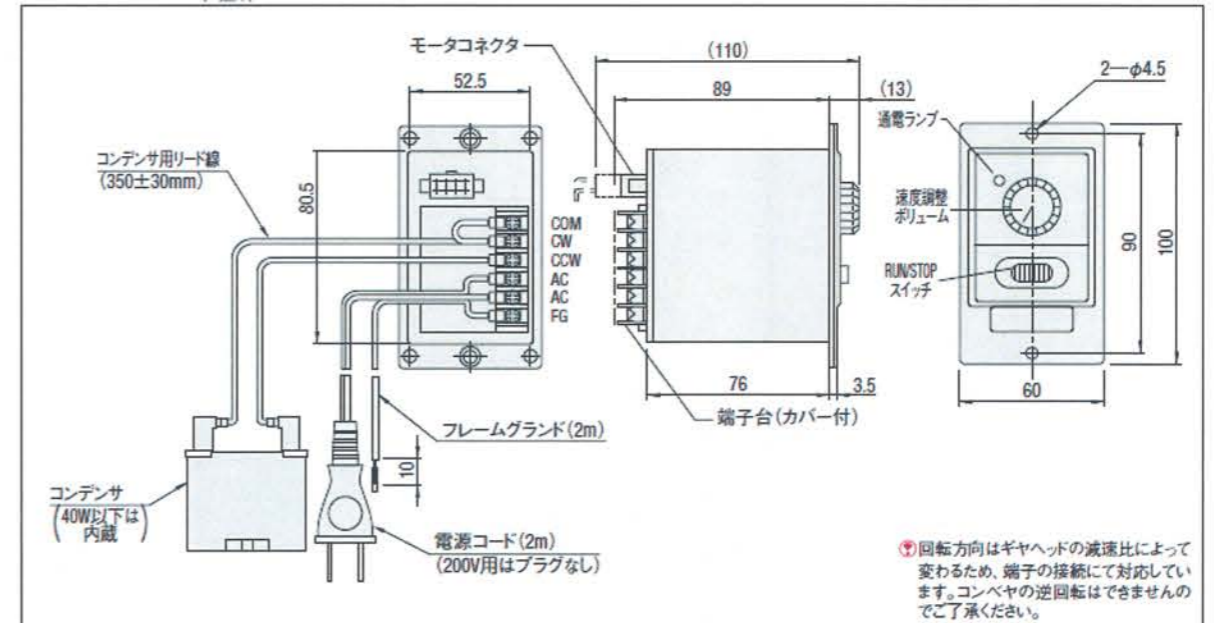
2. 配線

- コンベヤを自動機等に組み込む際には、結線図を参考にして設計してください。
 - a) 感電防止のため必ず電気工事責任者のもと、確実に「アース線」を接続してください。
※台湾製スピードコントローラにはアース線が付属しておりません。
アース線はご自身でご用意頂き、FG 部に接続してください。
 - b) コンベヤの上流に CE 適合した「電源遮断装置」を設けて下さい。
 - c) 万が一の場合に、直ちにコンベヤを停止できるように「非常停止装置」を設けてください。
 - d) 配線は心線がほつれない対策(はんだで補強等)を行ってください。
ただし、ショートする可能性があるため、圧着端子の使用を推奨致します。(台湾製モータのみ)
 - e) 通電前にネジ部締結を確認してください。心線がしっかり固定され【配線例】の心線 A、心線 B が接触していないことを確認し、通電を行ってください。(台湾製モータのみ)

■インダクションモータ



■スピードコントローラ



※ 上記はパナソニックモータを表しています。
オリエンタルモータ、台湾製モータに関しては、「ミスミ FA 用メカニカル標準部品カタログ」をご参照ください。

3. 構成

構成図の一例は次の通りです。



※上記構成部品は、代表的な部品だけを表示しています。

4. 運転

電源仕様は単相 AC100V、単相 AC200V、三相 AC200V から選択でき、未配線でお届けしています。

必ず資格を持った技術者が配線をして、各電圧用コンセント、または制御盤に接続してコンベヤを起動してください。

※本装置の使用電源電圧は単相 AC100V、単相 AC200V および三相 AC200V です。(日本国内仕様)

必ず指定の電源電圧を使用してください。その他の電圧では、絶対に使用しないでください。

5. 保守

■メンテナンス部品

ご購入頂いたコンベヤのメンテナンス部品の型番をミスミホームページから簡単にご確認/ご購入いただけます。

ミスミ コンベヤ選定サイト

<http://jp.misumi-ec.com/maker/misumi/mech/product/cvs/>

※部品の交換をする際は、必ずご使用のコンベヤ仕様と同じ型番の部品をご選定ください。

モータ、ベルト等は弊社カタログよりご購入可能です。

※お客様にて改造を行なった際には機能保証対象外、安全規格(CE マーク)対象外となります。

■メンテナンス時の注意事項

- ・ メンテナンスを行なう前に、必ず主電源が切れていることを確認してください。
- ・ ベルトに必要以上のテンションを付加しないでください。ベルトにテンションを付加しすぎた状態でコンベヤの運転を続けると、ベルトの劣化やプーリ軸受部の損傷が発生する恐れがあります。
- ・ 蛇行の調整を行う際には、ベルトのテンションも考慮しながら調整してください。
- ・ 蛇行防止柵付をご選定の場合、蛇行防止柵がプーリ、ベルト受け等に直接触れないよう蛇行調整を行ってください。蛇行状態のままコンベヤの運転を続けるとベルト表面の積着部が裂ける可能性があります。
- ・ コンベヤを運転する前には、適時清掃を行ってください。
- ・ ベルトのテンション調整は必ず左右交互に少しずつ行なってください。
- ・ テンション調整用ネジの片側だけを回し続けるとベルトが急激に片側に寄るため、プーリホルダやガイド等に接触して、ベルトのスリ切れやホツレの原因になります。

■メンテナンス部材検索

コンベヤ選定サイト

<http://jp.misumi-ec.com/maker/misumi/mech/product/cvs/>

■ベルト交換方法

ベルト交換方法を動画で確認することができます(PC 用)

コンベヤ選定サイト ベルト交換方法

<http://jp.misumi-ec.com/maker/misumi/mech/product/cvs/exchange/>

携帯専用

○ヘッド駆動タイプはこちら

<http://www.movie-cm.tv/?mvcd=000002gl>



○中間駆動タイプはこちら

<http://www.movie-cm.tv/?mvcd=000002gm>



6. 仕様・環境条件

出力	6W、25W、40W、60W、90W
定格電圧	100V、110V、115V、200V、220V、230V
使用電圧範囲	±10%(定格電圧に対して) ^{※1}
電源周波数	50Hz/60Hz
速度制御範囲 ^{※2}	90~1400min ⁻¹ (50Hz) 90~1700min ⁻¹ (60Hz)
速度変動率	5%(標準値)
速度設定	ボリュームにて設定(アナログ設定)
使用温度範囲	-10°C~40°C
保存温度範囲	-20°C~60°C
使用湿度範囲	85%RH 以下(結露のなきこと)

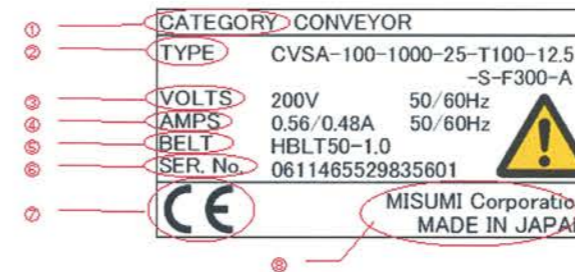
※1 ±10%は電源電圧の変動範囲であり、常時使用可能な電圧ではありません。

※2 モーターメーカーにより、多少の差異が発生します。

※ 本装置から発生する騒音の音圧レベルは 70dB(A)以下です。

■銘板ラベルの表示内容

- | | | | |
|----------|--------|--------|---------|
| ①製品カテゴリー | ③電圧[V] | ⑤ベルト型式 | ⑦CEマーク |
| ②型式 | ④電流[A] | ⑥受注番号 | ⑧製造・販売元 |



技術的なご質問に対するお問い合わせ先

<p>株式会社ミスミ</p> <p>F機構品企業体 組立標準品事業部</p> <p>〒112-8583 東京都文京区後楽2-5-1 飯田橋ファーストビル</p> <p>TEL: 03-5805-7293 FAX: 03-5805-7292</p>
